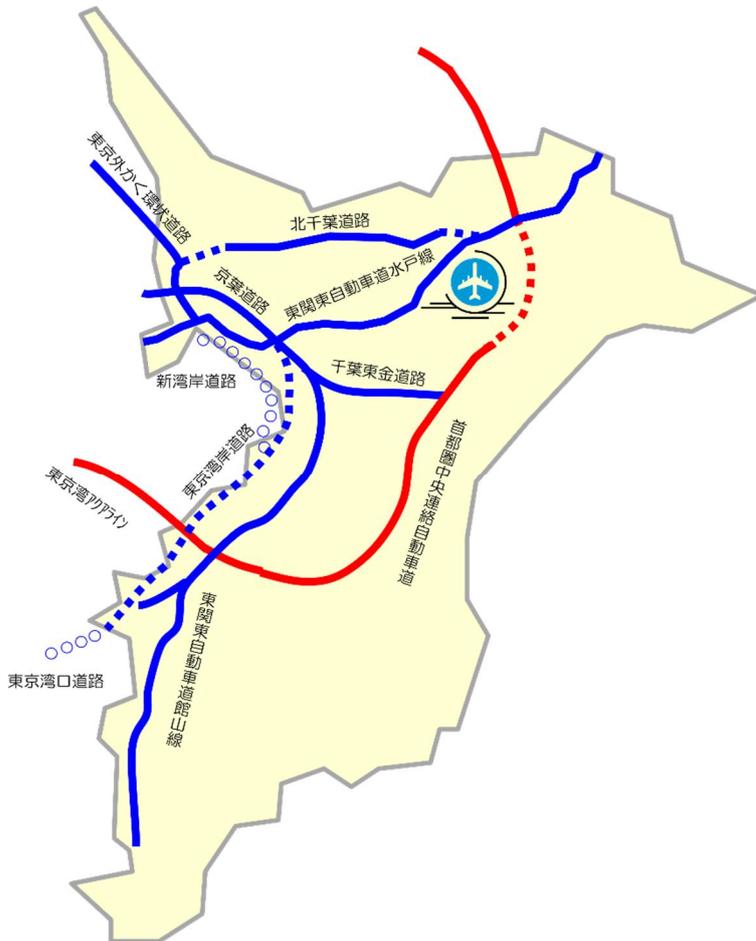


首都圏中央連絡自動車道の整備促進に関する 要 望 書

令和5年8月3日

様



首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会

会長 千葉県知事 熊谷 俊人



首都圏中央連絡自動車道の整備促進に関する要望書

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の千葉県区間につきましては、関係者の方々のご尽力により整備の推進が図られていることに、心から御礼申し上げます。

圏央道はアクアラインと一体となって、首都圏の各都市と成田空港などの拠点間を環状につなぎ、首都圏の広域道路ネットワークを形成する極めて重要な高規格道路です。

県内の圏央道周辺地域では、「アクアライン割引」ETC普通車800円の効果と相まって、観光施設への入込客数の増加や、物流施設等の立地の進展など経済に好循環をもたらすストック効果が現れております。

また、国土強靱化を図り、地方創生と地域経済の活性化を実現するなど、ストック効果を県内はもとより、首都圏に広げていくためにも、圏央道の早期完成が必要不可欠であり、「人」と「モノ」の流れがより活性化することで、我が国経済のさらなる好循環に結びつき、国際競争力が強化されることが期待されます。

大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、令和6年度の開通見込みを見直すこととされましたが、圏央道の一日も早い全線開通のため、県と沿線市町村が一体となって、国や東日本高速道路株式会社を最大限支援してまいります。

暫定2車線区間である県境から大栄ジャンクション間については、4車線化に向けて、事業が推進されており、当該区間の神崎インターチェンジから大栄ジャンクション間については、令和6年度までの供用に向けて工事が進められています。しかしながら、県内の開通区間の大部分は暫定2車線となっており、ネットワークの機能拡充による生産性の向上等に加えて、安全で円滑な交通の確保や防災力の強化を図るためにも、早期の4車線化が必要です。

圏央道の整備効果を更に高めるためには、インターチェンジやパーキングエリアの更なる整備も必要不可欠です。

（仮称）かずさインターチェンジについては、内房地域の中核的な研究施設である、かずさアカデミアパークへのアクセスを強化するとともに、企業立地の促進、物流の効率化、観光振興などに寄与することから、早期整備が求められます。

また、成田空港の更なる機能強化に伴い、空港を利用する旅客、事業者等の利便性の向上や交通需要の増加に対応していくためには、圏央道と空港を直結する新たなインターチェンジの整備が必要です。

神崎パーキングエリア（仮称）については、圏央道の4車線化に併せて工事が進められており、山武パーキングエリア（仮称）については、用地取得に向けた設計業務が進められています。高速道路を安全で快適に利用するためにも、これら休憩施設の早期整備が必要です。

つきましては、次の事項の実現について、特段のご配慮を賜りますよう、ここに要望いたします。

記

- 1 大栄ジャンクションから松尾横芝インターチェンジ間については、一日も早い開通を図ること。
- 1 県境から大栄ジャンクション間の4車線化については、確実に事業を進めること。また、松尾横芝インターチェンジから木更津東インターチェンジ間については、早期に4車線化を図ること。特に、事業化されている松尾横芝インターチェンジから東金ジャンクション間については一日も早く4車線化工事に着手すること。
- 1 (仮称) かずさインターチェンジの早期整備を図ること。
- 1 圏央道と空港を直結する新たなインターチェンジについて、具体化が図られるよう必要な助言を行うこと。
- 1 神崎パーキングエリア(仮称)については、令和6年度までの供用に向け、確実に整備を進めること。また、山武パーキングエリア(仮称)については、早期供用を図ること。
- 1 圏央道のストック効果を最大限発揮させるため、銚子連絡道路や長生グリーンラインなどインターチェンジへのアクセス道路が、確実に整備されるよう必要な予算を確保すること。
- 1 圏央道と一体となって、首都圏における交流・連携の強化、地域経済の活性化等を図るため、「アクアライン割引」の継続に必要な予算を確保すること。
- 1 「アクアライン割引」の前提である、平成26年4月に導入された3つの料金水準とこれに伴う料金水準の引き下げについて、高速道路の利用促進や地域経済への効果を踏まえ、継続すること。
- 1 防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策に必要な予算・財源を確保し、計画的に事業を推進するとともに、対策期間完了後も、国土強靱化に必要な予算・財源を通常予算とは別枠で確保して、継続的に取り組むこと。
- 1 道路整備・管理が長期安定的に進められるよう、新たな財源を創設するとともに、道路関係予算全体を増額し、必要な予算を確保すること。

首都圏中央連絡自動車道（圏央道）



4車線化
令和6年度から順次開通見込み

県境
神崎 IC
令和6年度まで
L=10.6km (暫定2車線)

事業中
L=18.5km

暫定2車線区間の早期4車線化
〔松尾横芝 IC ~ 木更津東 IC〕

県内区間延長 L=約95km

凡例	
	開通済区間
	事業中区間
	調査中区間

経済の「みち」 圏央道

～「人」と「モノ」の流れがスムーズに～

- ▶千葉県内区間 約95kmのうち約8割が開通！
- ▶令和4年の物流施設等の立地件数は72件となり前年より増加！
オンライン消費の拡大等により、増加傾向が継続！
- ▶観光客数は神崎・大栄間の沿線では、開通前と比べ約598万人増加！
また、横芝・木更津間の沿線では、開通前と比べ約751万人増加！
- ▶成田空港と栃木・足利方面の所要時間が開通前と比べ約41分短縮！
- ▶大栄JCT～松尾横芝IC間の開通により、更なる効果が期待されます！

圏央道千葉県区間の開通と早期4車線化

圏央道沿線では、企業立地が加速



物流施設等立地件数の推移(累計)



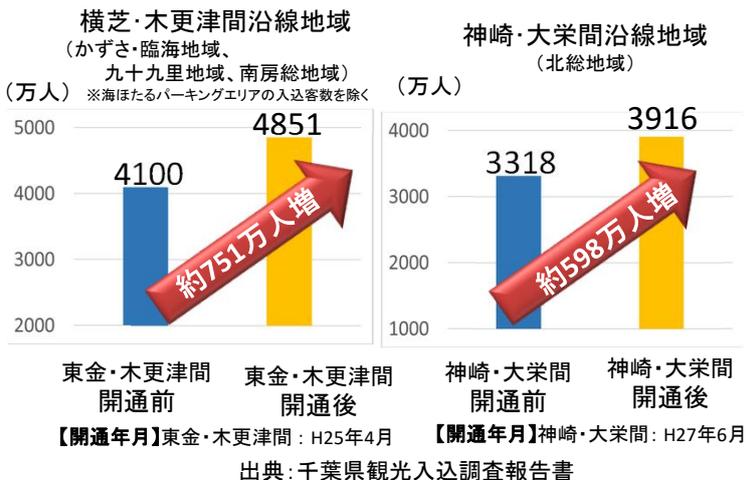
出典：企業立地動向調査(千葉県企業立地課)をもとに作成

- 沿線地域に工業団地を造成
 - ・茂原にはる工業団地(約19ha)→全て売却
 - ・袖ヶ浦椎の森工業団地(約32ha)→全て売却
 - ・かずさアカデミアパーク(約278ha)→ほぼ完売

観光客の増加

- 平成30年の本県の圏央道沿線地域では
 - ・横芝・木更津間で平成24年から約751万人増加
 - ・神崎・大栄間で平成26年から約598万増加

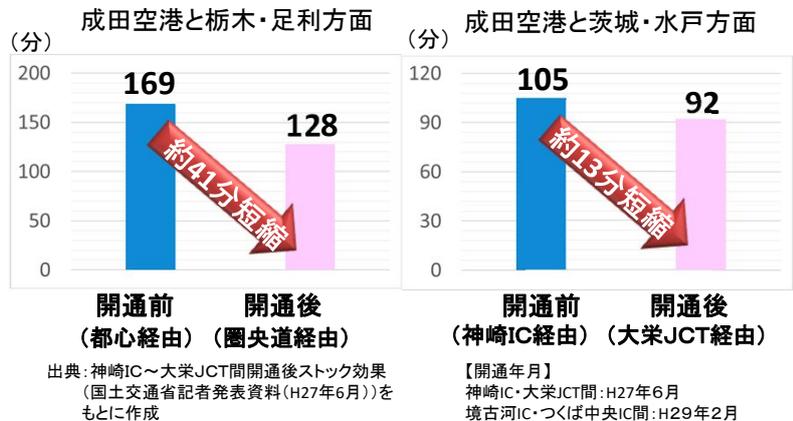
【千葉県観光入込客数】



充実する交通ネットワーク

- 開通により、成田空港と北関東方面を結ぶ広域ルートが形成され
 - ・栃木・足利方面との所要時間が約41分短縮
 - ・茨城・水戸方面との所要時間が約13分短縮

【地域経済の好循環～新たな広域ネットワークの形成～】



首都圏中央連絡自動車道建設促進期成同盟会 要望者一覽

千葉県知事	熊	谷	俊	人
千葉市長	神	谷	俊	一
木更津市長	渡	辺	芳	邦
茂原市長	田	中	豊	彦
成田市長	小	泉	一	成
東金市長	鹿	間	陸	郎
市原市長	小	出	讓	治
君津市長	石	井	宏	子
富津市長	高	橋	恭	市
袖ヶ浦市長	粕	谷	智	浩
八街市長	北	村	新	司
富里市長	五	十 嵐	博	文
山武市長	松	下	浩	明
大網白里市長	金	坂	昌	典
神崎町長	椿			等
多古町長	平	山	富	子
芝山町長	麻	生	孝	之
横芝光町長	佐	藤	晴	彦
一宮町長	馬	淵	昌	也
睦沢町長	田	中	憲	一
長生村長	小	高	陽	一
白子町長	石	井	和	芳
長柄町長	月	岡	清	孝
長南町長	平	野	貞	夫

(令和5年8月1日現在)